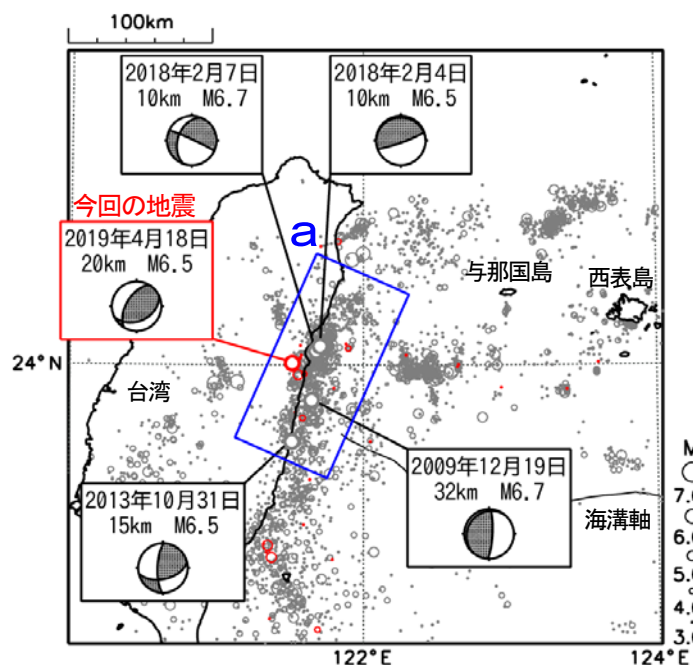


4月18日 台湾付近の地震

震央分布図

(2009年10月1日～2019年4月30日、
深さ0～50km、 $M \geq 3.0$)
2019年4月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解

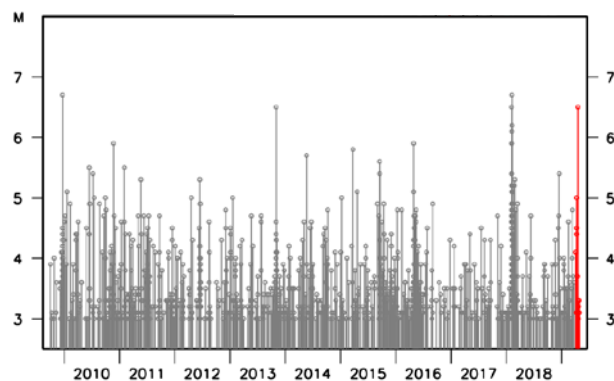


2019年4月18日14時01分に台湾付近の深さ20kmでM6.5の地震（日本国内で最大震度2）が発生した。

この地震の発震機構（CMT解）は、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

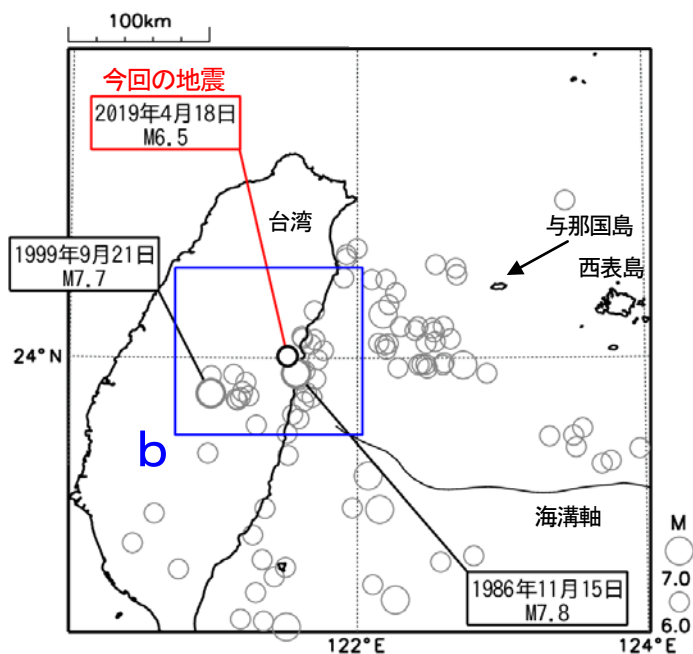
2009年10月以降の活動をみると、この地震の震央周辺（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、2018年2月の地震活動では、2月7日のM6.7の地震を最大規模としてM6.0以上の地震が4回発生した。

領域a内のM-T図



震央分布図

(1960年1月1日～2019年4月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)



1960年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、1986年11月15日にM7.8の地震（日本国内で最大震度3）が発生した。この地震により、宮古島平良で30cmの津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人の被害が生じた。また、1999年9月21日にM7.7の集集地震（日本国内で最大震度2）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人の被害が生じた。（被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による）

領域b内のM-T図

